

- 問1 鎌倉時代に栄西によって伝えられ、曹洞宗とともに武士から厚い支持を受けた禅宗の宗派を何という？
- 問2 鎌倉幕府が、朝廷の動きを監視するために京都に設置した機関を何という？
- 問3 時宗の僧である一遍が、念仏を唱えながら踊ることで信仰を広めた形式を何という？
- 問4 承久の乱で朝廷に勝利した後、鎌倉幕府が京都の朝廷を監視するために設置した役所を何という？
- 問5 鎌倉時代の将軍と御家人の間の「御恩」と「奉公」によって成り立つ結びつきを何という？
- 問6 13世紀後半、フビライ・ハンが日本へ向けて2度にわたり大規模な遠征軍を九州北部へ送った一連の戦いを何という？
- 問7 マルコ・ポーロが記した『東方見聞録』の別名を何という？
- 問8 鎌倉時代後半に、荘園領主や幕府の命令を無視して年貢を奪い、実力行使によって抵抗した集団を何という？
- 問9 『方丈記』や『枕草子』、『徒然草』を総称して何という？
- 問10 二度の元寇の際、鎌倉幕府の執権として指揮をとった人物は誰？
- 問11 モンゴル帝国が中央アジアを征服し、世界規模で勢力を広げたのは何世紀？
- 問12 元寇の際、防衛のために石築地が築かれた現在の福岡県にある湾を何という？
- 問13 北条泰時が制定した御成敗式目の別称で、制定された年号に由来する呼び名を何という？
- 問14 日蓮が人々の救いとなるとして唱えることを推奨した「南無妙法蓮華経」という言葉を何という？
- 問15 鎌倉時代の武士が好んだ、飾らずに自分を律する生活態度のことを何という？
- 問16 鎌倉時代、税として年貢が徴収されていた土地の種類を何という？
- 問17 鎌倉時代後期に時宗を開き、全国を回りながら布教活動を行った僧は誰？
- 問18 鎌倉幕府において、将軍が御家人の所領を保護・保証することを何という？
- 問19 座禅を通して修行し、自己の心を見つめることを重視する、鎌倉幕府から保護を受け武士に広まった仏教の一派を何という？
- 問20 平氏が瀬戸内海での影響力を強め、経済的な力をつけるために積極的に行った貿易を何という？
- 問21 後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして起こし、幕府がこれを鎮圧した戦いを何という？
- 問22 元軍の再襲来に備えて鎌倉幕府が博多湾の沿岸に築いた、石造りの防壁を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 臨済宗	臨済宗は、宋西が中国（宋）から日本に伝えた禅宗です。座禅を通じて自分自身を見つめ直し、悟りを開くことを目的とします。座禅の際に問いかけを用いる「公案（こうあん）」という独特の修行方法があるのが特徴です。
問2	答え 六波羅探題	六波羅探題は、京都の六波羅に設置された鎌倉幕府の重要機関です。朝廷の監視だけでなく、京都周辺の治安維持や、西国の御家人の統制、さらには京都で起こった裁判の処理などを幅広く担当しました。北条氏の一門がこの長官に就任することが多く、幕府の西国支配における最前線の拠点としての役割を果たしました。
問3	答え 踊り念仏	「踊り念仏」は、楽器の音に合わせて歌い踊りながら念仏を唱えるという、非常に活動的な布教の形です。視覚的・聴覚的に人々に訴えかけるこの方法は、当時の民衆にとって非常に魅力的でした。
問4	答え 六波羅探題	鎌倉幕府は京都に「六波羅探題」を設置しました。これは、単に京都の治安維持を行うだけでなく、朝廷の監視、さらには西日本の御家人の裁判や統率を担う重要な機関でした。これにより幕府の支配力は西日本にまで大きく広がることとなりました。
問5	答え 主従関係	主従関係とは、将軍が土地を保障する「御恩」と、御家人が軍役を果たす「奉公」が対になったものです。この契約的な関係により、将軍は御家人を束ね、軍事力を維持しました。土地を媒介として「御恩と奉公」を繰り返すことで、幕府は全国の武士を支配下に置くことができました。
問6	答え 文永の役	1274年の文永の役と、1281年の弘安の役の2度、元軍が九州北部に襲来しました。元軍は火器などを用いた集団戦法で攻めてきましたが、御家人たちの奮戦や、暴風雨の影響もあり、幕府はこれを退けることに成功しました。
問7	答え 世界の記述	『世界の記述』（あるいは『驚異の書』とも呼ばれる）は、モンゴル帝国（元）のフビライ＝ハンのもとでの体験、中国の高度な文明、さらには日本などの周辺国の様子が描かれています。これにより、ヨーロッパの人々に東洋の地理的な広がりを伝え、当時の人々の世界観を根本から書き換えました。
問8	答え 悪党	悪党は、荘園領主や幕府の統制を無視して、力づくで年貢の徴収を妨害したり、所領をめぐって紛争を起こしたりした武装集団です。武士だけでなく、土豪や農民が含まれることもありました。
問9	答え 随筆	随筆は、決まった形式にとらわれず、筆者が感じたことや考えたことを自由な文章でまとめたものです。特に『方丈記』は鎌倉時代の不安定な世相を、『枕草子』は平安時代の貴族の美意識を、『徒然草』は鎌倉時代末期の洗練された価値観をそれぞれ鮮やかに描き出しています。
問10	答え 北条時宗	北条時宗は鎌倉幕府の第8代執権です。元からの服属要求に対し、使者を処刑するという強硬な姿勢をとりました。1274年の文永の役、1281年の弘安の役の際には、自ら指揮を執り、防壁の建設や御家人への動員命令を通じて国家の危機を救いました。
問11	答え 13世紀	1206年のモンゴル帝国建国から、13世紀を通じてモンゴル軍は東西に遠征を行いました。この時代は日本でいう鎌倉時代の中期にあたり、幕府にとっては東アジアの情勢が大きく変化した激動の時期でした。
問12	答え 博多湾	博多湾は、元軍の主要な上陸地点となりました。二度目の襲来（弘安の役）に備え、幕府は博多湾岸に「石築地（防壁）」を築かせ、元軍の騎馬隊が上陸するのを防ぐとともに、日本軍が弓矢で戦いやすいような工夫をしました。この防衛線の強固さが、元軍の上陸を阻む大きな要因となりました。
問13	答え 貞永式目	制定された1232年の元号が「貞永」であったため、御成敗式目は「貞永式目」とも呼ばれます。特に、守護の権限を警察・裁判権に限定する「大犯三箇条」などが規定され、御家人の権利を守る内容が含まれていました。
問14	答え 題目	日蓮は『法華経』の功德を信じ、その題目である「南無妙法蓮華経」と唱えることこそが、最も確実な救済の手段であると説きました。これを「唱題（しょうだい）」と呼びます。
問15	答え 厳格	鎌倉時代の武士は、富や権力を誇示するよりも、質素で厳格な生活を送り、主君に対する絶対的な忠誠を誓うことを美徳としました。この精神性は、仏教の禅宗の普及とも結びつき、武士社会における倫理規範として定着しました。
問16	答え 荘園	荘園は、貴族や有力な寺社などが所有する土地で、そこから上がる収益が当時の支配階級の重要な経済源でした。鎌倉幕府が成立すると、幕府は各地の荘園にも「地頭」を配置し、年貢徴収や管理の権限を握りました。これにより、それまでの公領（朝廷直轄地）と並び、武士の支配対象となりました。
問17	答え 一遍	一遍は「時宗」を開き、踊り念仏を行いながら全国各地を巡りました。彼は特定の寺院に留まらず、諸国を旅しながら念仏の札を配ることで、階層を問わず多くの民衆に浄土への信仰を説きました。
問18	答え 所領安堵	所領安堵とは、御家人が持つ土地の支配権を将軍が保証する仕組みです。御家人は、将軍からこの御恩を受ける代わりに、戦場での戦いや京都の警備といった軍役を果たす義務がありました。この「御恩と奉公」の精神が、幕府の強力な支配体制を支える土台となりました。
問19	答え 禅宗	禅宗は、厳しい修行や座禅を通して、自らの内面を見つめることを教える仏教です。特別な書物よりも、師から弟子への心身を通じた教えを重んじました。その簡素で厳格な生活態度は、武士たちの気風と非常に相性が良く、幕府の庇護もあって急速に普及しました。
問20	答え 日宋貿易	平氏は、当時の中国の王朝である「宋」との貿易（日宋貿易）に力を入れました。博多や大輪田泊（現在の神戸港）を整備して外国船を呼び込み、宋から陶磁器や銅銭などを輸入し、日本からは金や硫黄などを輸出しました。この利益が平氏政権の強大な経済力の源泉となりました。
問21	答え 承久の乱	1221年、後鳥羽上皇は幕府を倒すよう命じましたが、北条政子の演説で結束した幕府軍が京都へ進軍し、朝廷軍を撃破しました。この勝利により、幕府の権力は決定的なものとなりました。
問22	答え 防壁	幕府は北九州の御家人たちに命じ、博多湾の海岸沿いに石造りの長い防壁を築きました。これが「防壁」です。元軍の上陸を困難にさせる防御施設であり、当時の武士の軍事動員体制を示す重要な遺構です。